学校番号	３１６

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	新編「化学」　（数研出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学基礎で学習した内容の再確認、またそれを発展・応用させ、演習問題や新たな学習内容へと結びつける。基本となる反応や試薬・器具の操作などを反復して学習し、知識の定着を徹底する。授業は原則、板書でおこなうので授業内容をノートに書き、定期考査ごとに提出してもらう。

2　学習の到達目標

化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や化学の現象について学ぶことで、様々な自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	原子がどのように反応するのかなど、自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を考察し、導き出した考えを的確に表現している。	化学的な事物・現象に関する実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、科学的に探求する技能を身につけている。	化学的な事物･現象について､基本的な概念や原理・原則を理解し､知識を身につけている。
評価方法	授業観察 ノート ワークシート 実験の記録 定期考査	授業観察 ノート ワークシート 実験の記録 定期考査	授業観察 ノート ワークシート 実験の記録 定期考査	授業観察 ノート ワークシート 実験の記録 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	物質の状態	原子の構造	○			○	a:物質の状態と分子、結晶の構造に関心を持ち、意欲的に探求しようとする b:周期表の関係を考察し、導き出した考えを表現している。 c:化学反応や熱の受け渡しに関する探究活動を行い、科学的に探求する方法を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:物質の状態について理解し、知識を身につけている。	定期考査 授業プリント等の課題 小テスト
		周期表とイオン	○	○				
	物質の状態変化	化学反応と熱エネルギー		○	○			
		物質寮と量的関係	○		○	○		
2学期	無機物質	非金属元素	○	○		○	a:無機物質に関心を持ち、意欲的に探求しようとする b:無機物質の性質や関係を考察し、導き出した考えを表現している。 c:無機物質の性質に関する探究活動を行い、科学的に探求する方法を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:物質について理解し、知識を身につけている。	定期考査 授業プリント等の課題 小テスト
		典型金属元素	○	○	○	○		
		遷移元素	○			○		
		無機物質と人間生活	○			○		
3学期	有機化合物	有機化合物の基礎	○			○	a:有機化合の性質についてその構造を意欲的に探求し見の周りの有機化合物について関心を持つ。 b:有機化合物の構造と性質の関連性や異性体について論理的に考察できる。 c:アゾ染料の合成において合成過程を確認でき、化学的な実験手法を身につけている。 d:有機化合物の構造や性質について理解し、知識として身につけている	定期考査 授業プリント等の課題 小テスト
		脂肪族化合物	○			○		
		芳香族化合物	○	○	○			
		有機化合物と人間生活	○					

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。